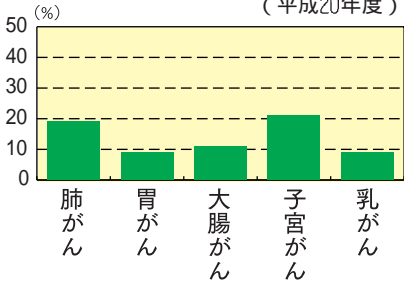
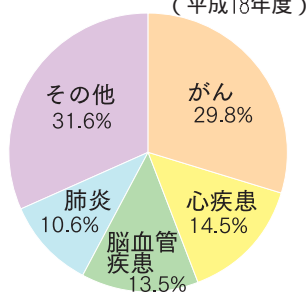


健康チェックにご利用ください「いきいき受診券」

グラフ2 各種がん検診の受診率 (平成20年度)



グラフ1 主要死因の割合 (平成18年度)



■本市の死亡者の死因第1位はがん
平成18年に本市で亡くなった人のうち約3割ががんによって亡くなっています。
しかし、本市の各種がん検診受診率はとても低い状態が続いています。
がんは、近年、医学の進歩により早期発見・早期治療すれば治る確率が高くなっています。がんの早期発見のために、年1回は必ず検診を受けましょう。

がん検診の予約は
サンサンコールかごしまへ
TEL099-808-3333
■予約できる検診(集団検診のみ)
胃がん、腹部超音波、乳がん、子宮がん
◇希望する検診日・会場をお知らせください。いきいき受診券の再発行やがん検診の予約変更も受け付けています

◆対象 60歳以上の人、社会保険・共済組合などの被保険者本人でない人(自営業者・専業主婦)など
※対象者以外でも、職場などでがん検診が受けられない人は、健康保険証の提示でがん検診を受診できます
【保健予防課258・2321】

地域で受けられる集団検診

検診の種類	対象	検診料
胃がん検診(間接撮影)		1000円
腹部超音波検診(エコー検査)	40歳以上 ※法律により65歳以上の人は結核検診の受診が義務づけられています	800円
胸部レントゲン検診(結核・肺がん検診)		無料 ※ただし問診の結果、喀痰検査の必要な人は500円
大腸がん検診(便の潜血検査)		600円
子宮がん検診(細胞診断)	20歳以上の女性	頸部検査 600円
乳がん検診	40歳以上の女性	視触診+マンモグラフィ2方向撮影(40歳代)...1600円 視触診+マンモグラフィ1方向撮影(50歳以上)...1100円
骨粗しょう症検診(集団子宮がん検診会場で実施)	今年度40・45・50・55・60・65・70歳になる女性	300円
前立腺がん検診(血液検査) ※各種健康診査と同時受診	各種健康診査の対象者のうち、今年度50・55・60・65・70歳になる男性	400円
肝炎ウイルス検診	今年度40歳以上で未受診の人	600円

病院や診療所で受けられるがん検診

検診の種類	対象	検診料
子宮がん検診(細胞診断)	20歳以上の女性	頸部のみ...1800円 頸部・体部...2700円
乳がん検診	40歳以上の女性	視触診...700円 視触診後の集団マンモグラフィ単独検査(要予約) 40歳代(2方向)...1300円 50歳以上(1方向)...800円
大腸がん検診(便の潜血検査)	40歳以上	1000円
前立腺がん検診(血液検査) ※各種健康診査と同時受診になります	各種健康診査の対象者のうち、今年度50・55・60・65・70歳になる男性	700円
肝炎ウイルス検診	今年度40歳以上で未受診の人	各種健康診査と同時受診 1000円 単独受診 1700円
歯周疾患検診(歯科検診・歯周ポケット診査)	今年度40・50・60・70歳になる人	1300円

半日がん検診

今年度40歳・50歳になる人は、胸部レントゲン検診、大腸・胃・子宮・乳がん検診、腹部超音波検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診が、まとめて受診できます。 ※電話での予約が必要です

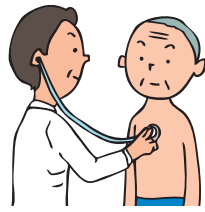
種類	対象	検診料
特定健康診査	40~75歳未満の本市国保加入者	
長寿健康診査	後期高齢者医療制度の加入者	
一般健康診査	40歳以上の生活保護受給者のうち社会保険未加入者	
生活機能評価	65歳以上の本市介護保険1号被保険者(要支援・要介護認定者を除く)	

検診場所(予約電話) 検診料
県民総合保健センター 下伊敷三丁目1-7 (220-2332) 男性 6000円 女性 8000円

健康診査 がん検診などのほか「いきいき受診券」で受けられる健診

- ◇検査項目 問診、身体計測、理学的検査(診察など)、腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査など
- ◇実施場所 委託医療機関(個別健診) 各保健センター、学校、公民館など(集団健診)
- ◇健診料 無料(「いきいき受診券」と「保険証」を持参)
- ◇詳しくはサンサンコールかごしま099-808-3333へ

種類	対象
特定健康診査	40~75歳未満の本市国保加入者
長寿健康診査	後期高齢者医療制度の加入者
一般健康診査	40歳以上の生活保護受給者のうち社会保険未加入者
生活機能評価	65歳以上の本市介護保険1号被保険者(要支援・要介護認定者を除く)



温泉活用で健康増進

この広報紙は、紙へのリサイクルに適した材料を用いて作成されています。

さくらじま白浜温泉センター (桜島白浜町) 293-4126

かごしま温泉健康プラザ (永吉二丁目) 252-8551

スパランド裸・楽・良 (東俣町) 245-7070

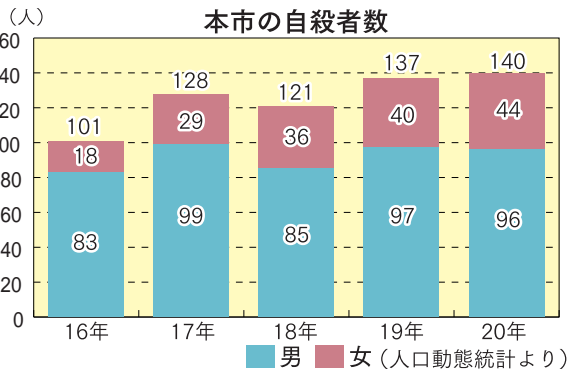
マリンピア喜入 (喜入町) 345-1117

市の健康増進施設をご利用ください

みんなで取り組む自殺対策 生きやすい社会を目指して

わが国の自殺者数は平成10年に3万人を超え12年連続で高止まりを続けています。

本市においても平成20年の自殺者数は140人です。男女別にみると男性の割合が高くなっていますが、女性の自殺者数は年々増加傾向にあるといえます。



年齢別にみると50歳代が最も多く、働き盛りの自殺者も少なくありません。

多くの自殺は、個人の自由な意志や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合っている心理的に追い込まれた末の「選択肢のない死」であるといわれています。

自殺の問題は決して他人事ではありません。この深刻な状況を受け止め、わたしたちができることを一緒に考えましょう。

自殺対策の基本認識

- ◇自殺は追い込まれた末の死である
- ◇多くの自殺は防ぐことができる 心理的な悩みを引き起こすさまざまな要因に対する社会の適切な介入や、自殺に至る前のうつ病などの精神科疾患に対する適切な治療により、多くの自殺は防ぐことができるといわれています
- ◇自殺を考えている人は悩みながらもサインを発している 死にたいと考えている人も、こころの中では「生きたい」という気持ちとの間で激しく揺れ動いており、眠れない、原因不明の体調不良などサインを発していることがあります

こころの相談~精神科医師が相談を受けます~

- ◇日時 毎週水曜日13時~
- ◇場所 保健所 ◇相談は無料
- ◇申し込み 電話で保健予防課258-2321へ

今年度の自殺対策講座など

※市民のひろばなどで参加者を募集します

講座	期日
ゲートキーパー養成講座 ※ゲートキーパー...地域や職場、教育などの分野で、自殺のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へつなぐ役割が期待される人材	8月ごろ
自殺対策講演会と無料相談会	9月11日(土)
こころの健康づくり講演会	来年3月12日(土)

自死遺族のわかちあいの会「こころ・つむぎの会」

県精神保健福祉センターでは、大切な人を自殺によって亡くした家族の人たちが、つらく苦しい気持ちを語り合い、支え合うことで、生きる希望を取り戻していくための会を開催しています。

- ◇対象 大切な人を自殺で亡くした家族
- ◇日時 偶数月の第2日曜日13時~15時ごろ
- ◇場所 県精神保健福祉センター
- ◇初めての人は電話で県精神保健福祉センター255-0617へ

一人で悩まずに、まずはご相談ください

- 保健予防課 ☎258-2321(FAX258-2392)
- 精神保健福祉交流センター(はーと・ばーく) ☎214-3352(FAX206-8571)
- 鹿児島いのちの電話(24時間年中無休) ☎250-7000
- 県自殺予防情報センター(祝日を除く毎週月・木曜日) ☎255-1282